

2025

4月号



友だち追加を!

令和7年4月1日号  
発行 松本純事務所

# 松本純レポート

No. 4

松本純ホームページ▶<https://jun.or.jp/> ご意見箱▶[opinionbox@jun.or.jp](mailto:opinionbox@jun.or.jp)

神奈川1区支部長

## 松本純から丸尾なつ子さんにバトンタッチ

3月27日、自民党神奈川県連総務会が開かれ、丸尾なつ子氏（43歳）の次期支部長推薦が認められました。

「松本純は次期衆院選に出馬しない」と昨年11月22日の県連意向調査に答え、その決意が報道されました。当然次期後継者探しが始まり、支部長という大変重い職にふさわしい人は誰か、私の思いや意志を継いでくれる人は誰か、1区の県市議、また経済界、後援会の代表と協議を重ねてまいりました。

その結果、学業を通じ自己実現に励み、社会的貢献を果たし、政治のあり方も熱心に学んできた丸尾なつ子さんが最適者として選ばれました。私も世代交代をし、今後20年30年、中区・磯子区・金沢区を任せるのに最もふさわしい人物と確信しています。間もなく党本部決定により新しい1区支部が立ち上がります。



松本純から神奈川一区支部長を引き継ぐ丸尾なつ子氏

### 経産省官僚、弁護士 の経験も

丸尾さんは第一次安倍政権時に経産省に入省、経済対策に尽力し、退職後は弁護士として行政庁や企業の法務アドバイスなどを行ってきました。地元在住で二人のお子さんの母親でもあります。今回支部長に手を挙げたのは、まず住んでいる地域を良くしていきたいと強く思ったこと。そして日本を経済で世界に誇れる国にもう一度したい、という夢があるからです。

100年後の日本を見据えて、日本の未来は明るいぞ、経済面だけでなく平和が続いて日本は良い国だ、と皆が思える社会を創っていきたくと力強く語ってくれました。今までの経歴で培った知識や経験を活かし、産業育成の法律立案や、デジタル、ヘルスケア産業、社会インフラの整備に取り組みたいと、丸尾さんは考えています。

世界情勢は大きく変わりつつあり、混沌としていると言えるでしょう。日本も世界のうねりの中で立ち位置を模索しています。さらに自由民主党も多くの課題を抱え、信頼を取り戻すべく悩み苦しんでいます。内外ともに問題が山積する今、この厳しい戦いに自らの決断で、覚悟を持って挑戦することを決めた丸尾なつ子さんを、私も全力で応援します。今、自由民主党には「真の政治家」が求められています。丸尾さんが「真の政治家」の意味を深く理解し、横浜のため、日本のために誠心誠意尽くしてくれることを願ってやみません。

## 横浜の課題

# 人口減少と交通インフラ整備

日本が抱える最大の問題は人口減少です。現在1億2300万人の人口が、2070年には8700万人になると人口動態統計では言われています。横浜も例外ではありません。

明治維新以来、横浜は海と港を中心とする港湾都市として経済を構築してきました。みなとみらい地区の再開発は順調に進んでいますが、経済の発展、暮らしの向上を願うには、将来に向け更なる対策が求められます。

人口減少社会における経済発展のキーワードは、生産性の向上及び効率化であると考えます。働く人が減少してもAIやロボットなどを活用しDX化を進めることで、現在の経済規模は維持することができるでしょう。

生産性の向上を高めるには、当然物流・人流の効率化も必要で、そのためには交通インフラの強化が不可欠です。



出典：「横浜市内における鉄道計画」(横浜市 HP)

今は分断されている鉄道が繋がるように環状化し、それに連携する道路を拡充させる。こうした交通網の整備が経済のストレスを減少させ、より利便性の高い、一体化した横浜を創ることにつながると考えます。

政治に求められているのは、このように広い視点で横浜の未来を考える、いわば横浜のグランドデザインを設計することです。人口減少に負けない、いっそう豊かな横浜と住む人たちが快適に過ごせる社会を求めてアイデアを出し続けていくことも政治家の役目です。次代を担う若き政治家に情熱を注ぎこんでいただきたい。

1面より

## 丸尾なつ子 プロフィール

—松本純前支部長の思いを継いで—

1982年2月25日生れ 43才

2005年3月 東京大学経済学部卒

2007年3月 東京大学公共政策大学院卒

2007年4月 経済産業省入省

2009年8月 夫の海外留学に帯同  
(～2010年12月帰国)

2011年2月 長女出産、子育てに全力投球

2011年4月 東京大学法科大学院入学  
(～2014年3月卒)

2016年9月 司法試験合格

2016年11月 最高裁判所司法修習(～2017年12月)

2017年12月 ふじ合同法律事務所入所(～2025年3月現在)

2021年5月 長男出産、コロナ禍でマスク出産

2025年3月 松本純より後継指名を受ける(3月4日)



### 【政治活動】

自民党女性局女性未来塾3期生

かながわ自民党未来カレッジ6期生